

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三井不動産ロジスティクスパーク厚木Ⅱ	階数	地上4F
建設地	伊勢原市石田字八本木84番1ほか52筆/厚木市愛甲一丁目402番1ほか13筆	構造	SRC造
用途地域	工業地域、一部第1種住居地域、防火指定無	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年10月18日
敷地面積	24,389 m <sup>2</sup>	作成者	(株)銭高組一級建築士事務所
建築面積	15,555 m <sup>2</sup>	確認日	2018年5月16日
延床面積	54,726 m <sup>2</sup>	確認者	(株)銭高組一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 74% (33 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 74% (33 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 74% (33 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	厚木市と伊勢原市の条例に基づき外構計画を行い、室外環境の維持に努めた。また、入居テナントによって、配置の変更や空調機器の追加ができるように計画を行い、さまざまなテナントに対応できるように計画した。	その他
Q1 室内環境	該当無し。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	設備システムの効率化を図り、省エネルギー対策を行った。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	将来の用途変更や設備システムの更新性を考慮し、階高、空間形状、荷重のゆとりを確保した。また、将来用の給排水設備及びスリブを設け、配管の更新性や給排水設備の追加に対応した。	その他
LR2 資源・マテリアル	節水型器具を採用し、水資源の保護に努めた。また仕上げ材に有害物質を含まない材料を使用し、環境負荷削減を図った。	その他

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される